



# 一歩～3C～



2024(令和6)年5月10日

福山市立日吉台小学校

6年学年通信 No.5

## あたらなかった・・・

4月26日(金)の参観日。子どもたちは、おうちの人に自分の頑張っている姿を見てもらいたいと思い、授業に臨みました。「頑張っている姿」といえば、やはり「発表している姿」と思ってしまいます。しかし、授業の中で、発表することだけが、頑張っている姿ではありません。「手を挙げること。」「自分の考えをもっていることを伝えること。」「友達の考えを聞き、うなずいたり新しい発見をしたりすること。」「わからなかったことが、わかること。」などたくさんあります。今回は、発表したかったけれど、できなかったけれど、学んだことがあると感じた作文を紹介します。

### 六年生初めての参観日

小川 航

「キンコンカンコン。」  
五時間目のチャイムがなった。チャイムがなると同時に、どんだん人が来たので緊張した。

算数で、「どうしてそうなるか話し合いますよ。」と言われ、友達に説明したり説明を聞いたりして意見交流をした。

また、「この問題は分かる人。」と聞かれ、手を挙げた。けれど、一回もあたらなかったので、どうしてだろうと思った。いつもあまり手を挙げないから、あたると思ったのに、あたらなかった。先生は、僕のノートを見て、笑い領いた。だから、あててくれればいいのと思った。

今回の参観日では、手をいっぱい挙げるのができたけれど、先生にあてられなかったので、全然活躍できなかった。けれど、僕は、今回の算数で、初めて知ったこともあるし、よく手を挙げるのができたので良かったと思う。次の参観日も頑張りたい。

### 自信をもって！参観日

黒木 日南子

参観日での私の目標は、分かったら、緊張して恥ずかしくならず、あてられなくても手を挙げることであった。

今回の授業は、「文字式」という単元で、発表するチャンスもたくさんあった。先生が、発表するチャンスを与えた時、いつもなら手をつかり伸ばして自信をもって手を挙げる。だが、今日は、もう六年目だというのに、やはり周りにいる保護者が気になって、いつもと違って小さく手を挙げてしまった。すっと心の中で、「あてられたらうれしいけれど、緊張するな。」と思っていた。結局あてられなかった。

分かったら手を挙げるという目標は、達成することができたが、もっと自信をもって手を挙げるなどまだまだ改善できることがあると思うので直していきたい。そして、次の参観日には、家族に最高学年らしい姿をみてもらいたい。

### 楽しみ

細川 智美

今日は、参観日。参観日は、いつも緊張していた。しかし、今回は違った。同じメンバーで何年も勉強しているせいか、だんだんと慣れてきた。だから、今まで嫌いだった参観日も、楽しみだった。話し合いの時間もあったから、自分の意見をいろいろな人に聞いてもらうことができ、うれしかった。

あてられはしなかったが、手を挙げられた。いつもは、分かっている問題でも、あまり手を挙げなかった。しかし、だんだんと慣れ、挙げるこができるようになった。参観日だけでなく、普段の授業や話し合いなどでも、恥ずかしくならず手を挙げ、積極的に授業に参加するために、いつもよりも発表する回数を増やしていこうと思った。

このクラス、メンバーで過ごす最後の一年を、楽しく過ごすためにも、授業や話し合いで発表すること、いろいろな人と協力し合うことを大切に、誰もが、「楽しかったな。」と思える一年にしたい。